

子ども会とは

子ども会は、子どもを構成員とする集団です。

そこに、子どもの自主的な活動をよりよく育てるために指導者と教育者が加わり成立します。

遊 び

最近の子ども達は、あまり遊ばなくなったといわれています。しかも、仲間（集団）で遊ぶことが少なくなっています。

その理由としては、遊び場の不足、進学準備などが考えられますが、親やおとなの遊びに対する考えが、子ども達の遊びを消極的なものに行っていることを見逃してはなりません。

おとなの考えでは遊びは息抜き、気分転換でしかなく、あまり発展的には捉えられていません。そこで、子どもに遊ぶことよりも『勉強』と机に向かわせてしまいます。しかし、子どもにとっての遊びは単に遊びではなく、成長していかなければならない子どもにとって欠くことのできない重要なものを多分に含んでいます。

遊びの中から

本来、子どもは戸外で遊ぶことが好きです。しかも、気の合った仲間と一緒に遊ぶことが好きです。こうして、遊んでいる子ども達を観察していると色々なことが見えてきます。

- ・ みんなで遊びのルールをつくり、そのルールのなかで自己の知的・体力的な能力をどのように発揮すればよいかを学びます。
- ・ 見解の相違などから他人との衝突のさい、遊び仲間の関係を成立させるため場合によっては自己の要求をおさえ、協調することの大切さや、そのための方法を知ります。
- ・ 集団で行動するなかで、自分がどのような役割を果たさなければならないかを理解し、進んで責任を果たそうと努力します。

このように子ども達は遊びを通して連体制・協調性・責任感などを養い、人間関係、社会性を学びます。

子ども会のねらい

子どもは、遊び仲間を求めており、遊びを通じて社会の一員としての必要不可欠なことがらを学んでいきます。

このような子どもの遊びの特徴をとらえ、健全な仲間づくりをすすめる、心身の成長発達に大切な活動を促進助長することが子ども会です。

このような活動は、学校、家庭の教育とともに欠くことのできない重要な教育活動であります。